

## 森田療法の光明の一つに

高橋 義人 (湘南病院精神科)

私は昭和29年に慈恵医大精神科教室に入局して間もなく、パートで高良興生院の仕事をお手伝いすることになりました。毎週木曜日には入院中の患者を集めて高良先生の講話があり、毎回わたしも拝聴しました。一つ一つが貴重なご意見でしたが、中でも理想と現実についてのご指摘が記憶に残っています。「理想が現実と合わないとわかれば、現実に合わせて理想自身を変えねばならなくなる。」この言葉は、当時理想主義的な割り切り方を大事にしていた私自身にとっても厳しい指摘になったと思います。しかし、ここらに、事実唯真という思想を貫く森田療法の本音が示されているのだとわかってきました。

そのような思い出に始まる高良興生院が幕を閉じたことは、私にとっても、他の関係者にとってもショッキングな出来事でした。しかし、その後、就労センター「街」として生まれ変わった建物の中に、関係者のご尽力で高良武久・森田療法関連資料室が誕生し、保存会が結成されました。

この保存会は、現在事業計画として森田療法の関連資料の収集、図書の整理、充実、森田療法普及活動などを活動目的としています。

森田療法も近年では、海外での評価が次第に高まりつつあり、国内でも精神療法としての有用性への評価が揺るぎないものになっていると思います。

この保存会の活動が、森田療法の今後のために光明の一つになって欲しいし、そのために少しでもお役に立てればと念じている次第です。

### 事業報告

1. 会員は現在 70 名です。
2. 春の講演会は、阿部亨先生、丸山晋先生にお願いしました。  
昨年好評だったビデオ鑑賞会も計画しました。
3. 本会のパンフレットが出来ました。ご希望のかたはお申し出ください。
4. 図書の整理をして、どのような資料を集めるかの検討をはじめます。  
皆様が所有されているものでご協力頂けるものがあればお知らせください。
5. 新しい役員に、メンタルヘルス岡本財団の岡本常男先生をお願いしました。

## 春の講演会とビデオ鑑賞会のお知らせ

### 1、講演「かつて高良興生院があった——入院森田療法の経験」

阿部 亨先生（森田療法クリニック）

講演「高良武久先生の講話について（仮題）」丸山 晋先生（淑徳大学）

司会 近藤喬一先生

日時：2002年 5月18日（土） 14：00～16：30

場所：就労センター「街」 3階ホール

会費：1,500円（会員） 2,500円（非会員）

森田先生の直弟子として、森田療法の普及と発展に力を尽くされた高良武久先生の下で興生院の院長として長年に渡り森田療法の指導をされてこられたのが阿部亨先生です。今回は、阿部先生から、興生院での入院森田療法の実際について、お話をうかがうことにいたしました。また、実際に、興生院に住み込まれて、高良武久先生の薫陶を受けた丸山先生からは、高良武久先生の講話についてお話をさせていただきます。興生院がなくなってしまった今、たいへん貴重なお話ですので、ぜひおいでください。

### 2、ビデオ鑑賞

「常盤台神経科」 2002年 5月15日（水） 14：00～16：00

「生きる」 （同上） 18：00～20：00

場所：就労センター「街」 3階 ホール

参加費：会員 1,000円 非会員 1,500円 （両方参加されても同額です）

前回、好評だった「常盤台神経科」を、今回は昼間に上映します。また、メンタルヘルス岡本財団制作の最初のものである「生きる」を夜間に上映します。前者は入院森田療法の体験であり、後者は、牛乳配達のアルバイトをしながら対人恐怖症を乗り越えていく男性の体験を中心に、どちらも常盤台神経科の藤田千尋先生が解説をしていきます。森田療法を知るには絶好の作品です。

## 会員の皆様へ

皆様の会費でこの会は運営されています。就労センター「街」のメンバーに管理をお願いし、又、必要な資料を収集することにしてあります。そのためには、会員を、もう少し増やしたいと思っておりますので、身近な方で、ご関心のある方に入会をお薦めください。そのためにパンフレットを同封いたしました。

※2002年度会費（3,000円）の納入を同封の振り替え用紙にてお願いします。